

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1941
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.35, No.11 (1941. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19411101-0119">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19411101-0119</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

し乍ら經濟の地域的組成の問題は、博士の定義に於けるが如き經濟地理學にとつては本來の問題ではないであらう。即ちそれは、地方經濟・國民經濟・國際經濟又は世界經濟を研究する經濟學の諸部門の課題であり、同時に經濟地理政策論に於いて取上げられる課題であるやうに思はれる。

第五には、第一編第二章冒頭の次の如き文章の意味が理解されない。即ち「經濟地理學の成立が極めて最近の事に屬し、且つその研究對象が、經濟と自然といへる概念的に全く別個の範疇に屬するものなるが故に、之を統一綜合して一元的に取扱ふ事は方法論的に頗る困難であり、強ひてこの異なるものを一元的ならしめんとすれば、經濟哲學又は歴史觀となり、經驗科學たるの地位を逸脱するの虞なしとせず。かくの如き事情にあるが故に經濟地理學はその研究方法、任務、定義等その本質を闡明すべきものにつきて未だ定説を見ざる状態に在る。」(二九頁)といふ一節である。經濟地理學の研究對象が經濟と自然であると云はれるのは如何なる意味に於いてであらうか。而してこの文章では、この兩者を研究對象とするが爲めに斯學は必然に二元的でなければならぬといふ意味に解されるが、恐らく博士は斯かることを云はれるのではあるまい。(日本評論社發行、本文四一〇頁附録文献要覽一五頁、定價四圓)

### 前號

(第三十五卷)  
十月號

### 目次

出生減の原因と對策の基調……………寺尾琢磨

統制經濟下に於ける會計學の

一問題……………小高泰雄

戰爭本質論の一研究……………加田哲二

——クラウゼヴィッツの戰戰爭論を中心として——

イー・ダブルユー・エッカード教授著「ダブルユー・エス・ジェヴォンズの經濟學」……………高橋誠一郎

購 一 部 金五拾錢 郵税金壹錢五厘  
讀 半ヶ年分 金貳圓九拾錢 郵税金九錢  
料 一ヶ年分 金五圓四拾錢 郵税金拾八錢

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所へ  
營業に關する用件は發賣所へ  
原稿締切期日は發行前月十日

昭和十六年十月二十五日印刷納本  
昭和十六年十一月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌	第三十五卷	第十一號
編輯者	江田 範保	東京市芝區三田慶應義塾内
發行所	東京市赤坂區新町五ノ四二	金子鐵五郎
印刷所	東京市赤坂區新町五ノ四二	金子活版所

發行所 東京市芝區三田慶應義塾内  
發行所 東京市神田區淡路町二ノ九  
配給元 日本出版配給株式會社  
發賣所 東京市芝區三田二ノ一  
慶應出版社  
購讀申込は慶應出版社へ